

文献

- 足立にれか,石川正純,岡本浩一.(2003).決議の規定因としての発話態度、決定ルールおよび
集団サイズ会議のシミュレーションー.社会技術研究論文集.1,pp278-287.
- A.Hirschman.(著),矢野修一.(訳)(2005).離脱・発言・中世一企業・組織・国家における衰退へ
の反応ー MINERVA 人文・社会科学叢書.ミネルヴァ書房.
- Asch,S.E.(著)三隅二不二,佐々木薫(訳編)(1969).グループ・ダイナミックス I 第二版 第 10
章集団ある力が判断の修正とゆがみに及ぼす効果.誠信書房,pp227-240.
- Bales,R.F.&Strodtbeck,F.L.,三隅二不二,佐々木薫.(訳編)(1983).グループダイナミックス II 第
33 章集団における問題解決の位相.誠信書房,pp749-765.
- Barnard,C.I.(1938). The Functions of the Executive,Harvard University Press.(バーナー
ド CI(著)山本安次郎(訳)(1968).経営者の役割,ダイヤモンド社.)
- e-Gov 電子政府の総合窓口 会社法(平成平成二十八年六月三日公布)
[http://elaws.egov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=417
AC00000000086&openerCode=1](http://elaws.egov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=417AC00000000086&openerCode=1)
- Halsey,Jane Gassert.(1991).Purposes for Talk in Nurse Managers' Meetings(Doctoral
dissertation).Retrieved from <https://digital.lib.washington.edu/researchworks/handle/1773/8213>
- 長谷川育子.(2003).看護師長会議の運営を改善し、師長の役割意識を高める.砂川市立病院医
学雑誌,20(2),pp63-68.
- 平田明美,戸梶亜紀彦.(2013).病棟看護師長の役割認識に関する研究.日本医療病院管理学会
誌,50(4),pp275-284.
- 本間道子.(2011).セレクション社会心理学 26 集団行動の心理学ーダイナミックな社会関係
のなかでー5 集団の意思決定あるいは合意形成のために.サイエンス社.
- 堀公俊.(2004).ファシリテーション入門.日経文庫.
- 古川久敬,山口裕幸.(2012)〈先取り志向〉の組織心理学 プロアクティブ行動と組織.有斐
閣,p162.
- 井部俊子,浦田喜久子,中西睦子.(1990).看護婦長会議における相互作用過程の位相推移に関
する実証的研究.日本赤十字看護大学紀要,4,pp18-31.
- 池田謙一.(2013).セレクション社会心理学-5 新版 社会のイメージの心理学-ぼくらのリア
リティはどう形成されるか-.サイエンス社,pp13-14.
- 印南一路.(2002).すぐれた意思決定ー判断と選択の心理学ー.中央公論新社(中公文庫).

- 印南一路.(2003).すぐれた組織の意思決定—組織をいかに戦略と政策—.中央公論新社,pp248-256.
- Janis,I.L. (1982).Groupthink:Psychological studies of policy decisions and fiascoes(2nd).Houghton Mifflin.
- 亀田達也.(1997).合議の知を求めて—グループの意思決定— 認知科学モノグラフ③.共立出版株式会社.
- 金井壽宏.(2005).リーダーシップ入門.日経文庫,p221-234.
- 勝原裕美子.(2016).組織で生きる—管理と倫理のはざま—.医学書院.
- 河嶋知子.(2016).新しい知識を創り出せる組織への再構築.看護管理,26(1),pp36-40.
- 釘山健一.(2008).「会議ファシリテーション」の基本がイチから身につく本.すばる舎.
- Latane,B.,Willams,K.&Harkins,S.(1979).Many hands make light the work:The causes and consequences of social loafing.Journal of Personality and Social Psychology , 37,822-832.
- 前田マスヨ.(1987).婦長会を活かすために 特集 婦長会.看護,39(6),pp18-26.
- Malouff, John M.,Calic,Alexsandra.,McGrory,Catherine,M., Murrell, Rebecca L., Schutte, Nicola S.(2012).Evidence for a Needs-Based Model of Organizational-Meeting Leadership. Current Psychology: A Journal for Diverse Perspectives on Diverse Psychological Issues,31(1),pp35-48.
- March,J.G., Simon,H.A., 土屋守章(訳)(1977)オーガニゼーションズ.ダイヤモンド社,pp127-128.
- Marcial Losada,Emily Heaphy.(2004).The Role of Positivity and Connectivity in the Performance of Buisness Teams:A Nonlinear Dynamics Model.American Behavioral Scientist,47(6),pp740-765.
- 松尾太加志,中村知靖.(2002).誰も教えてくれなかった因子分析.北大路書房.
- 三隅二不二,山田雄一,南隆男.(1988).応用心理学講座 I 組織の行動科学 10 章組織における意思決定.福村出版株式会社,pp198-219
- 三浦道明.(1972).会議学入門.ビクトリー出版,pp12-57.
- 宮川公男.(2005).新版 意思決定論 基礎とアプローチ.中央経済社.p40.
- 水本篤,竹内理.(2008).研究論文における効果量の報告のために—基礎的概念と注意点—.関西英語教育学会紀要 英語教育研究,31,pp57-66.
- 永井良三,田村やよひ.(監修)(2013).看護学大辞典 第 6 版.メヂカルフレンド社.
- 中村誠司.(2017).対人援助職のためのファシリテーション入門.中央法規,p31.

日本看護協会.(2015).2015 年病院看護実態調査.

<http://www.nurse.or.jp/home/document/view.php?f=seisaku/90.pdf>

日本看護協会.(2017).認定看護管理者カリキュラム基準【ファーストレベル】.

http://nintei.nurse.or.jp/nursing/wp-content/uploads/2017/04/cna_curriculum_1st_201704.pdf

新村出.(編)(2008).広辞苑 第6版.岩波書店.

Noelle-Neumann, Elisabeth.(著),池田謙一,安野智子(訳).(2013).沈黙の螺旋理論[改訂復刻版]-世論形成過程の社会心理学-.北大路書房.

野中郁次郎, 竹内弘高.(1996).知識創造企業. 東洋経済新報社.

岡本浩一.(2016).会議を制する心理学.中公新書ラクレ.

岡本浩一,足立にれか,石川正純.(2006).組織の社会技術 2 会議の科学ー健全な決済のための社会技術ー.新曜社.

岡本浩一,今野裕之.(2006).組織健全化のための社会心理学ー違反・事故・不祥事を防ぐ社会技術ー 組織の社会技術 1.新曜社.

奥裕美,井部俊子,柳井晴夫,石崎民子,上田文,太田加世,...高島有理子.(2010).看護管理実践のための自己評価指標の開発.日本看護科学会誌,30(2),pp32-43.

大久保街亜,岡田謙介.(2012).伝えるための心理統計.p56,勁草書房.

R.リッカート(著),三隅二不二(訳)(1968).組織の行動科学ーヒューマン・オーガニゼーションの管理と価値ー.ダイヤモンド社.

佐伯胖.(1980).「きめ方」の論理ー社会的決定理論への招待ー. 東京大学出版会. pp.307-310.

齋藤孝.(2015).不毛な会議・打ち合わせをなくす技術.PHP ビジネス新書,pp143-151.

坂野雄二,東條光彦.(1986).一般性セルフ・エフィカシー尺度作成の試み.行動療法研究.12(1),pp73-82.

佐々木薫.(1977).意思決定と会議.年報社会心理学,18,pp51-72.勁草書房.

末松千尋.(2016).会議の9割はムダーホワイトカラーの労働時間を50%削減させるマネジメントー.PHP,pp119-144.

杉万俊夫.(1976).意思決定における参加の効果に関する研究.実験社会心理学研究,16(2),pp121-126.

鈴木淳子.(2016).質問紙デザインの技法 第2版.ナカニシヤ出版,pp149-151.

樽井この美,五十嵐祐.(2016).集団成員の制御焦点が集団討議における沈黙に与える影響.対人社会心理学研究,16,pp33-39.

富永真己,小田美紀子.(2017).病院の看護師長の主観的評価による看護師長業務の負担と蓄積疲労度および長時間労働に関する研究.日本医療・病院管理学会誌,54(1),pp7-17.

浦田喜久子,立石恵子.(1996).婦長会のとらえ方と活性化の方法.看護展望,21(5),pp18-22.

浦山絵里.(2016).看護師長のためのファシリテーション入門.Nursing BUSINESS,10(12),pp64-71.

渡辺幸子,伊藤久美子,今井昭子ら.(1993).婦長会での自分自身の果たす役割を考える.看護実践の科学,18(11),pp77-80.

West,M.A.(著)下山晴彦(監修)高橋美穂(訳).(2014).チームワークの心理学.東京大学出版会.

山崎由香里.(2011).組織における意思決定の心理—組織の記述的意思決定論—.同文館出版.

吉田新一郎.(2001).会議の技法 —チームワークがひらく発想の新次元—.中公新書.pp34-97.

Zelko,H.P.(著),横山哲夫(訳)(1965).会議と討議—リーダーと参加者のための心得と技術—.ダイヤモンド社.pp15-27.